

## 取組の概要

『社員の健康を願うことは、持続的な健全経営を考える上で最も大切である』という信念のもと、社員の健康づくりや働きやすい職場環境づくりを継続して強化している。

## 会社について

人数：31名  
年齢層：10～60歳代  
活動年数：19年7ヶ月  
(週1回以上)

## 取組の詳細

- “職業病”の予防・改善：作業療法士・理学療法士による作業動作チェックを行い、工程や作業環境の改善を行うとともに、職業病である体の痛みを改善するための体幹トレーニングや治療的エクササイズを実施している。また、痛みの発生を未然に防ぐため、専門家考案のストレッチ運動も毎朝実施している。
- 健康診断・がん検診：健康診断を社員全員に実施。胃・肺・大腸がん検診、女性は子宮・乳がん検診の受診勧奨と、費用の全額助成も行っている。健康診断、がん検診ともに担当社員が日程調整と予約を行い受診率の向上に取り組んでいる。健康診断の事後措置として、保健指導対象者については希望者全員に保健指導を実施。要2次検査の者には、担当者より受診を要請し、受診の報告書を提出・保管している
- その他：子の看護休暇、時短制度、生理特別有給休暇の導入。残業・休日出勤を確認し代休振替推奨、治療・通院目的の休暇取得の推奨、失効年次有給休暇の積み立て、熱中症対策（各担当者毎に対策グッズの設置、空調服の支給、水分補給用アクエリアス支給等）、新型コロナウイルス対策（毎朝検温の実施、記録、消毒液の設置、マスク配布、初期は感染防止ビニールパーテーションの設置、高性能空気清浄機の設置、在宅勤務の環境整備と社内オンライン会議の導入）、インフルエンザ予防接種費用の全額補助（社員と同居家族対象）、メンタル不調者・病気等、相談窓口の設置、安全大会の際に運動指導、運動機会を設ける、いつでも使用可能な血圧計測定器や運動機器、マッサージチェアを設置。



### <主体性>

社員が健康に働くことができる職場環境を整えることが、持続的な健全経営につながるという思いで取組を継続・展開している。  
業務により発生する痛み（健康課題）を積極的に把握し、解決のため対策を講じている。

### <独自性>

長時間同じ姿勢での作業や、重い荷物を運ぶ等、業務による“職業病”と呼ばれる体の痛みを抱えている社員が多いことから、健康経営コンサルタントを導入。  
作業療法士・理学療法士による自社独自の痛み改善体幹トレーニングや治療的エクササイズを、社内アプリで配布。何時でも実施することで、社員が自主的に体の不調を改善し、健康意識の向上がみられる。

### <地域貢献度>

多様な職員に対応した制度を導入。インフルエンザ予防接種では同居家族の費用助成も行っており、従業員はもちろんその家族の安心や健康にもつながっている。  
6年連続での健康経営優良法人認定、ヘルスマネジメント認定等の様々な賞を受賞しており、事例発表を行う等、他の事業所において模範的存在である。

### <将来性>

お互い様の社内環境を作り、社員に個別に声がけをすることで取組みへの理解を深めている。  
現場環境の改善と身体のケアに同時に取り組むことで、将来起こりうる健康問題にも予防的な対策を講じている。  
70歳までの再雇用制度も導入しており、今後を見据え高齢社員への健康管理を計画している。

## PR ポイント

- “職業病”として体の痛みを抱える社員が多いという健康課題を把握し、課題解決のための対策を考え実施している。
- 健診・がん検診の一括した日程調整を実施。がん検診の費用補助や健康のための休暇取得を推進し、受診率の向上に取り組んでいる。
- 社員の家族へ向けた取組みを展開。社内での取組みの理解が深まり、健康に気をつける風土が広がりを見せている。